

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

10 年 た っ て

池 田 秀 博

(あーべいんクリニック 院長)

今回この区医だよりの巻頭言の依頼を受けたのは2回目でありもう一巡したことに驚いています。

浪速区で開業してから早くも10年が過ぎようとしているということはこの原稿は5年後にまた巡ってくることでしょう。

この10年で私的な事はともかく、開業当時と10年経った現在とではこのクリニックを取り巻く状況また、医療を取り巻く状況がかなりのスピードで変化しているように思います。

疾病・治療法の変化や最新医療といわれる分野また一般診療・専門医制度・在宅・介護などすべてにおいて合理化またスリム化が進んでおりこの先の医療が不安に思われます。

医療費の増大がこのような事態をまねいているのか、また医療も日進月歩しているにも関わらず、患者様の意識変化はほぼない状態で疾病の数は増加しています。

国が医療費を抑制、しかし抑制しているにも関わらず医療費の年々の増加、イタチごっこにも思われます。

また情報も多様化しておりインターネットにより不確実な医療情報の中来院される患者様が増加し、また医療事故、過誤などを容易に口にする若者が増加したように思われま

す。自己の権利ばかり主張する人たちが増えたように思われます。

私が医者になりたい理由の一つとして、もともと医者の家系であったとは別に、幼少時に風邪をこじらせ高熱で母親に連れて行ってもらった「山本医院」の山本先生の優しい思い出がありこのような優しいお医者さんになりたいと思ったことが要因の一つで開業医を目指しました。医者になってみて初めてあの先生は本当に優しくったのだろうかと思ふと疑問に思えることが診療中にあります。

患者を治療するために病院・開業医にかかわらず医者は自己の時間を削って診療・治療に当たっている者が多数いると思われる中、そのことを理解している患者様は私の幼少期にくらべて減っているのではと思います。只医師にも謙虚さまた自己努力が必要だと思えます。何か窮屈な世界に優しい診療が出来るのかと思ふとされます。

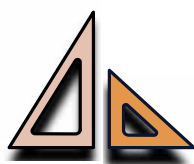
昔は大家族から近年核家族になり周囲との関係はほぼない時代になっているように医療にも心がない、只診断し治療し患者が元気になっていく。事務的になっていくような気がして少し虚しくなってきました。

この陰には自己のみの世界に容易に入っていけるスマートフォンの発展がすごく関与している気がします。私が医者になった時、携帯電話は一般の人はほぼ持っていないく呼び出しは、ポケットベルで呼び出され電話をかけなোসという時代でした。それから数年で携帯電話が急速に普及し現在ここ約10年で急



激にスマートフォンが普及してきました。
電車に乗ると車両のほぼ8～9割は子供から
老人に限らずスマートフォンとにらめっこ、
ネットをしているものもいればゲーム・非常
識な者は電話を周りの人を気にせずにかけて
います。以前携帯電話は電車の中では使用禁
止であったような気がしますが時代の流れな
のでしょうか。ただスマートフォンが1人の
世界の象徴とも思われます。今後どのような
世界に進んでいくかわからないですが、昭和
の古き良き時代が懐かしく思われて仕方ない
日々です。

理事会報告



◎平成28年度3月定例理事会

日 時 平成29年3月24日(金)

午後8時～10時

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 改正道路交通法の施行に伴う高齢運転者
への診断書作成にかかる説明会について
＜澤井会長＞
標記説明会の開催の可否について協議願
いたい。

協議の結果、開催することに決定。

開催日時は次のとおりとし、警察と調
整することとなった。

4月14日(金)、4月19日(水)、4月
20日(木)

いずれも午後2時からとする。

また、精神科医師にも出席を依頼する。

2. 広報なにわ 健康コラム「なでこちゃん
の健康広場」の原稿依頼について

＜澤井会長＞

保健福祉センターより、件名について依
頼があった。

依頼内容は次のとおりである。

掲載月 30年1月(原稿締切11月10日)

テーマ 自由

執筆者を決めたい。

協議の結果、福永理事に決定。

3. 事業計画の前文について＜久保田副会長＞
資料のとおり、提案。

協議の結果、一部修正することとなった。

4. 29年度レクリエーション(10月28日(土)
～29日(日)1泊旅行)について

＜川田理事＞

開催については決定。参加者の会費等は
後日協議を行うこととなった。

5. 決算委員会の日程について＜木田理事＞
標記委員会の日程を決めたい。

協議の結果、4月10日(月)午後8時
に決定。

また、監査日を4月17日(月)午後2
時に決定した。

6. 職員の定期昇給について ＜木田理事＞
例年どおりに決定。

7. その他

- (1)府立今宮高等学校の応援医師について
学校医より応援医師の要請があった。

詳細は次のとおり。

場 所	今宮高等学校(戎本町2-7-39)	
検 診 日	4月11日(火)	4月12日(水)
時 間 等	13:00(集合) 13:15～15:30ごろ	
標 榜 科 目	内科	
募集医師数	1名	2名
実施人数	1年生約240名	2・3年生約500名
出 務 費	1名1回 24,000円	
必 要 書 類	学校より応援医師へ連絡する	

協議の結果、会員から公募することとなった。

-
- (2) 8月開催予定の理事会の日程について
次回、再検討することとなった。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について
(3月24日〈金〉) <澤井会長>
次第は次のとおり。

▷開会
▷会長挨拶
▷連絡事項

- (1) 結核に係る定期健康診断実施報告等
(2) てんかん発作時の座薬挿入に関する主治医意見書の件
(3) 学校感染等に係る登校・登園に関する意見書の件
(4) 学校健診に関するポスター作成の件
(5) 日本医師会 ORCA 管理機構「MEDPost (文書交換サービス)」の件
(6) 4月度行事・会合日程および平成29年度主要行事・会合日程の件

▷協議
▷閉会 (詳細 略)

2. 大阪市医師会連合会について
(3月13日〈月〉) <澤井会長>
次第は次のとおり。

▷協議事項

- (1) 平成28年度人権研修会開催の件
(2) 第32回評議員会(5月15日)への提出議題の件

▷連絡事項

- (1) 大阪市訪問型病児保育モデル事業終了の件
(2) 新しい総合事業にかかる健診(選択型通所サービス健診)にかかる取扱医療機関への周知の件

- (3) 平成29年度大阪市保健事業委託料の件
(4) 平成29年度大阪市公衆衛生活動事業補助金の件

▷報告事項

- (1) 大阪市介護認定審査会正副会長会(2月23日)報告の件

- (2) 大阪市地域包括支援センター運営協議会
(2月27日)報告の件 (詳細 略)

3. 浪速区三師会について

(3月4日〈土〉) <澤井会長>
今年度は歯科医師会主催で、3月4日〈土〉ロイヤルホテル皇家龍鳳で開催され、医師会からは9名、3師会合わせて30名が参加。4テーブルに分かれて、和やかに懇親を深めた。 (詳細 略)

4. 第308回府医臨時代議員会について
(3月23日〈木〉) <澤井会長>
議事は執行部原案どおり可決決定した。

▷第1号議案

日本医師会代議員補欠選出の件(1名の欠員補充)

▷第2号議案

日本医師会予備代議員補欠選出の件(1名の欠員補充)

▷第3号議案

平成28年度大阪府医師会会費減免申請に関し承認を求める件 (詳細 略)

5. 高齢者等在宅医療・介護連携に関する相談支援事業について <澤井会長>
標記事業へ応募した結果、大阪市より選定結果の通知があった。
平成29年3月13日に開催された高齢者等在宅医療・介護連携に関する相談支援事業受託法人選定委員会での審議を経て、本会を受託予定法人として決定したとのことであった。

6. 松原市医師会ブルーカードシステム説明会について

(2月27日〈月〉) <久保田副会長>
松原市医師会では、李会長、上野副会長の元、医師会に地域連携室を立ち上げ、本年2月より医療介護連携ツール(カナミック)の導入を開始しており、在宅医療の病診連携として、ブルーカードシステムに興味を持たれていた。本説明会では、

Aケアカードまでの一連の流れを説明し、
実演をおこなった。松原市医師会の現状
では、アナログ的な病診連携からスタート
するのがいいのではという議論になった。
(詳細 略)

7. 医療情報に関する講演会について

(3月2日<木>) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
▷テーマ 「医療制度におけるICT化の
問題点について／ITフェア」
▷講演
(1)「医療、介護におけるICT化の現状と課題」
(2)「ORCA(日医標準レセプトソフト)
からの報告」 (詳細 略)

8. 在宅医療実践セミナーについて

(3月2日<木>) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
▷挨拶 澤井会長
▷司会 久保田副会長
▷座長 有田副会長
講演「実際の現場では?～事例報告で考
えてみよう～」
・多職種連携はスムーズにできているの?
・Aケアカードはホンマにええカード?
講師 なんば南藤吉医院 藤吉先生
▷まとめ 有田副会長 (詳細 略)

9. 在宅医療推進事業実績報告会について

(3月12日<日>) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
▷開会挨拶
▷講演
「浪速区在宅医療コーディネータ ICT
事業の今後と注意点」
講師 浪速区医師会副会長 久保田泰弘
▷報告会
▷合同まとめ報告
▷閉会 (詳細 略)

10. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議について
(3月15日<水>) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷在宅医療講演会・多職種連携研修会
(平成29年2月24日<金>開催)の
結果報告
▷平成29年度 事業計画等について
▷その他 (詳細 略)

11. 第8～11ブロック合同懇談会について
(3月2日<木>) <富永理事>

次のテーマで開催された。
▷講演 テーマ「薬物治療 Up-To-Date」
(1)「日常診療に役立つ鎮痛剤処方の実
際～新世代の鎮痛剤～」
(2)「漢方における痛みの治療 その理
論と実際」 (詳細 略)

12. 学術講演会について

(2月18日<土>) <富永理事>
講演内容は次のとおり。
演題 C型肝炎撲滅を目指した医療連携
講師 大阪市立大学大学院医学研究科
肝胆膵病態内科学 河田則文先生
出席者数 12名
共催 ギリアド・サイエンシズ株式会社
情報提供 ソバルディ®/ハーボニ配合錠®
のご紹介 (詳細 略)

13. 病診連携委員会について

(11月30日<月>) <入野理事>
次第は次のとおり。
▷第78回病診連携委員会報告について
▷朋愛病院のプルカードシステム参加と
地域連携について
▷ブルーカードの病病連携の現状について
▷本会の在宅医療連携の現状について
▷その他 (詳細 略)

14. 大阪府産業保健活動推進協議会合同会議について
(3月2日<木>) <竹中理事>

次第は次のとおり。
▷開会挨拶
▷シンポジウム
テーマ「産業保健三事業(地域産業保健

事業、産業保健推進センター事業、
メンタルヘルス対策支援事業）一
元化を振り返って」

座長 大阪府医師会産業医部会

副部会長 圓藤 吟史

①講演 大阪産業保健総合支援センター
副所長 寺村 晃久

②講演 医療法人藤森クリニック
理事長／院長 藤森 次勝

③総合討論

▷閉会 (詳細 略)

15. 都道府県医師会介護保険担当理事連絡協
議会について

(3月1日〈水〉) <福永理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷議題

(1) 介護職員処遇改善に関する報酬改定お
よび地域支援事業について

(2) 地域支援事業の推進について

(2-1) 認知症施策の取り組み

①高齢者の自動車運転と認知症の人を
地域で支える取り組み

(2-2) 都道府県医師会における先進
的な取り組み

①熊本県における地域リハの取り組み

②埼玉県における地域リハの取り組み

③在宅医療・介護連携推進事業に関す
る福井県医師会等の取り組み

(3) 地域支援事業を活用した「まちづく
り」への期待

(4) その他

▷質疑等

▷総括

▷閉会 (詳細 略)

16. その他

なし。

次回理事会

平成29年4月28日〈金〉 午後8時～

3月

学術講演会報告

日 時 3月11日〈土〉 午後2時

演 題 検尿異常から透析含めた末期腎不
全まで

講 師 寿楽会大野記念病院

内科医長 大野 良晃 先生

出席者数 20名

共 催 中外製薬株式会社

情報提供 腎性貧血治療薬ミルセラ注情報提供

現在、慢性腎臓病(CKD)患者数は、30万人前後とされています。まず慢性腎不全(Chronic Renal Failure=CRF)とは、疾患名を示すものではなく、慢性に進行する各種腎疾患によって、不可逆的に腎機能が緩徐に低下する病態をさしていました。CRFの原因疾患としては、ほとんど全ての腎疾患が原因となりますが、糖尿病(Diabetes Mellitus=DM)性腎症や、慢性糸球体腎炎(Chronic Glomerulo nephritis=CGN)、腎硬化症などが多いとされています。米国腎臓財団(NKF)は、これまで慢性腎不全、慢性腎機能不全、慢性腎炎症候群などの用語で呼ばれていた病態をCKD(慢性腎臓病)として統一し、その重症度分類によって腎機能低下の程度を表現したものです。

急性腎不全に関しては、腎前性、腎性、腎後性に分けることができます。まず急性腎不全と診断した場合、まず腹部エコーにて水腎症の有無を確認します。水腎症であれば、腎後性腎不全診断でき、泌尿器科に相談となります。腎後性腎不全は否定できた場合は、腎前性、腎性の区別になります。血中・尿中のBUN、Creの値からFeUN、下大静脈径等からFeUN35未満であれば、腎前性の可能性が高くなります。腎性腎不全は、薬剤性や急性尿管尿管壊死等が疑われます。

腎炎に関しては、現在日本でIgA腎症が、

最も頻度の高い疾患となっています。世界と比較して日本で多い理由は、健康診断が発達しているためと考えられます。診断は、腎生検施行となります。臨床的重症度分類と組織学的重症度分類にて IgA 腎症患者の透析導入リスクの層別化で低リスク、中等リスク、高リスク、超高リスクに区別する事ができます。積極的治療として、扁桃摘出術＋ステロイド治療となります。保存的治療としては、ARB 等内服となります。

腎臓内科への紹介のタイミングとしては、1)尿蛋白 0.50g/gCre 以上、または検尿試験紙で尿蛋白 2+ 以上、2)尿蛋白、尿潜血ともに陽性(1+ 以上)、3)検尿試験紙で尿潜血 2+ 以上、4)40 歳未満：eGFR 60 mL/分/1.73m² 未満、40～70 歳：eGFR 50 mL/分/1.73m² 未満、70 歳以上：eGFR 40 mL/分/1.73m² 未満、5)腎機能が急速に悪化等が推奨されてます。

薬剤性腎不全として、RAS 阻害薬(ACE-I や ARB)、NSAID やフィブラート系等が被偽薬とまず考慮されます。RAS 阻害薬は、糸球体高血圧を解除する意味で腎保護薬作用はあり、非常に有用な薬と考えます。しかし、腎不全が進行した末期腎不全では、動脈硬化等で腎血流が低下しており、RAS 阻害薬や利尿薬投与によりさらに糸球体血流が低下し、急性腎不全を引き起こす事があります。急性腎不全の際、RAS 阻害薬内服中止すべきと考えます。NSAID は CKD 患者では、できるだけ内服しない事が推奨されています。NSAID は腎虚血となり、腎前性急性腎不全を引き起こす可能性があります。治療はまず薬剤中止となります。フィブラート系は、eGFR 低下した状態で使用すると急性腎不全を引き起こす可能性はあります。

保存期慢性腎不全の治療、脂質管理、血圧管理、CKD-MBD (慢性腎臓病と骨ミネラル代謝異常)の管理。代謝性アシドーシスの管理は重要と考えられます。HCO₃ ≤ 22 mEq/L で全死亡リスクが上昇する、腎機能の低下が速くなるという報告があります。血液ガスで診断できれば良いですが、代謝性アシドー

シスの推測法として血清 Na-血清 Cl < 36 であれば、HCO₃ の低下が予想されます。その際は、重曹内服等で治療を開始します。

今後も CKD の患者数が増加が予想され、CKD 管理が非常に重要になると考えます。



5 月度学術講演会のお知らせ

5 月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成 29 年 5 月 20 日(土)

午後 2 時～4 時

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：「日常診療でよくみる整形疾患

これって手術？

～腰痛から骨粗鬆症性疾患まで～」

講師：大阪急性期・総合医療センター

整形外科 副部長

鹿野 博亀 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。

浪速区医師会 活動の伝言板

平成 29 年 5 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

●保健福祉センター

5 月 25 日(木)午後 1 時 40 分～ 3 時 30 分

小児科 本田 秀明

眼 科 山尾 信吾

耳鼻科 大野 聡司

1歳6ヶ月児健康診査

●保健福祉センター

5 月 8 日(月) 午後 1 時 40 分～ 3 時 30 分

有田 繁広

B C G 接種

●保健福祉センター

5 月 18 日(木) 午後 2 時～ 3 時 30 分

工藤俊次郎・本田 秀明

急病診療所出務

●中央急病診療所

5 月 1 日(月) 深夜 22 : 00 ～ 30 : 00

笹岡 英明

5 月 28 日(日) 準夜 17 : 00 ～ 22 : 00

城村 尚登・宇田 創

●今里休日急病診療所

5 月 14 日(日) 10 : 00 ～ 17 : 00

木田 徹・川田 信哉

大阪府医師信用組合『いししん』は医師会員の専門金融機関です。

組合員にご加入いただき、当組合のサービス(預金・ローン・お振込み 等)を是非ご利用ください。

いししんはクリニックの経営を応援します。

診療所 ステップアップローン

保証料 不要

無担保型 限度額 5,000 万円 期間 20 年以内

有担保型 3 億円 35 年以内

ローン金利はお問い合わせください。
変動金利型と当初10年間固定金利型
がございます。

運転資金にもご利用いただけます。
運転資金の場合、お借入れ期間は、
無担保型は7年以内、有担保型は
10年以内となります。

他行借入金のお借換えについても
お気軽にご相談ください。

自動車の購入資金に。

オートローン

保証料 不要 手数料 不要

無担保型 固定金利 限度額 1,000 万円 期間 7 年以内

年1.60%

●大阪府医師自動車連盟の会員様は、表示金利
より更に0.2%優遇いたします。
●借入名義で500万円以下のお申込みの場合は、
原則 連帯保証人は不要です。

お子様の教育に関する資金に。

教育ローン

保証料 不要

無担保型 変動金利 限度額 3,000 万円 期間 20 年以内

年2.475%

有担保型 変動金利 限度額 5,000 万円 期間 20 年以内

年1.775%

旅行資金、ゴルフ・リゾート会員権購入、結婚資金等に。

フリーローン

保証料 不要

無担保型 固定金利 限度額 1,000 万円 期間 10 年以内

年1.00%

ローン金利はお問い合わせください。
※診療所の運転資金、設備資金等の事業性資金
にはご利用いただけません。

住宅ローンが残っていてもご利用いただけます。

住宅リフォームローン

保証料 不要

無担保型 変動金利 限度額 5,000 万円 期間 20 年以内

年1.075%

※当初5年間、当初10年間の固定金利型もございます。
■自宅・セカンドハウス等の
リフォーム資金に

●表示金利は平成29年4月にお借りいただく場合の適用金利です。お申込時ではなく、実際にお借入れいただく日の金利が適用されます。●原則として、ご返済終了時 お借入れ人の年齢が満75歳を超える期間でのお申込みはお受けできません。●ローンには審査がございます。審査結果によってはご希望にそえない場合がございます。得卒ご了承ください。●上記のローン以外にもローン商品を揃えております。詳細については下記の「融資お問い合わせ専用番号」までお問い合わせください。担当者が勤務先に訪問する事も可能です。お気軽にご相談ください。

〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町19-14 (大阪府医師会保健センター1階)

融資お問い合わせ専用番号

☎0120-947-604 (平日9:00～17:00/土日祝休)

大阪府医師信用組合

いししんのホームページ

http://www.odcu.co.jp



あとがき

竹中 秀裕

◆春爛漫の4月も半ばを過ぎ、いつしか葉桜の季節となりました。3月、4月は卒業、入学の月でもあります。本年3月、浪速区内の3つの小学校が閉校となりました。小生の母校日東小学校も92年の歴史を閉じ、3月5日閉校式が行われました。少子化の影響を受け、浪速区内でも日東・恵美・日本橋の3小学校が併合され、新しく浪速小学校（全校生430人、19学級）として4月から再出発しています。時代の流れとは言え、卒業生の一人としては寂しい限りでありました。

◆ところで最近の新聞報道によると、日本の将来推計人口は50年後の2065年には現在の1億2千万人から8,800万人まで減少すること。しかも65才以上の高齢者が約40%、15～64才が約50%、14才以上が約10%、平均寿命は男性84.95才、女性91.35才まで延びるそうです。

これに伴い当然社会保障制度の見直しも行われてきます。政策研究の大学教授は「公的年金の見直しや高齢者延命治療見直しなど社会保障制度のスリム化を断行すべき」と述べています。政府は来年度、医療の診療報酬と介護報酬の同時改定を予定しています。介護報酬の引き上げは検討されていますが、診療報酬はどのようになるのでしょうか。巻頭言氏が指摘しておられる「・・・すべてにおいて合理化またはスリム化が進んでおり、この先の医療が不安に思われます。」が現実になる日が近いのでしょうか。

◆浪速区医師会では新年度が始まり、平成29年度の事業計画・予算が理事会で決定され、5月25日(木)予定の医師会総会に諮られようとしています。ブルーカードやAケアカードを中心に在宅医療・病診連携のますますの充実をはかり、会員のための事業を展開していったほしいと思います。本年度は親睦のた

めの会員・家族レクリエーションが一泊旅行で計画されています。日時は10月28日(土)、29日(日)予定で南紀方面とのことです。出来るだけ多くの会員の参加を期待します。

◆区医だよりにより、担当理事のご努力で「学術講演会報告」が載せられています。小生も出来るだけ講演会に参加したいと思っておりますが、どうしても参加できなかった時は、この報告を丁寧に読ませてもらっています。今回もCKD関連の演題であったが、「腎臓内科専門医へ紹介のタイミング」や「代謝性アシドーシスの推測法として血清Na－血清Cl<36でHCO₃の低下が予想され重曹内服治療を開始する。」など教えられる点が多々ありました。最近、講演会への本会会員の参加が少ないのが気がかりです。

◆まもなく風薫る5月。青葉若葉の輝きに満ちた季節となります。ゴールデンウィークの予定はすでに立てられましたか。会員諸先生のご健勝をお祈り申し上げます。



目次	ページ
巻頭言	
10年たって	池田 秀博 1
理事会報告（3月開催）	2
3月度学術報告	大野 良晃 5
5月度学術講演会のお知らせ	6
浪速区医師会活動の伝言板	7
あとがき	8

【区医だより】

発行者 澤井貞子
編集者 中村泰久 山田郁子
印刷所 株式会社 サ ビ